

保護者 様

松戸市立横須賀小学校
校長 黒岩 春生

学校教育活動アンケート集計結果のお知らせ

啓蟄の候、保護者の皆様にはますますご健勝のことと存じます。

さて、過日実施しました教育活動アンケート（保護者・児童・教職員）の結果概要をお知らせいたします。自由記述欄には温かい言葉を多数いただき、今後の励みとして大変感謝しております。また、一方で具体的なご意見・ご要望等もいただいております。真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。

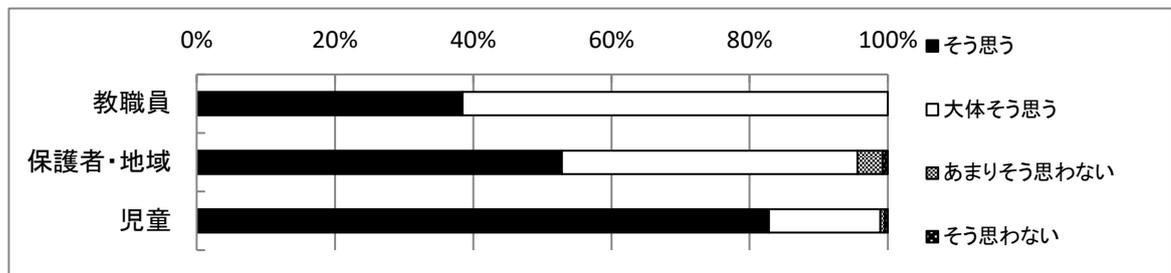
1. 実施対象及び回収率

	在籍数	集計数	回収率
教職員	27	26	96%
保護者・地域	607	386	64%
児童	681	639	94%

2. 集計内容

(1) 友達と仲良く学校生活をすごしている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	10	16	0	0	26
保護者・地域	204	165	14	3	386
児童	529	103	4	3	639

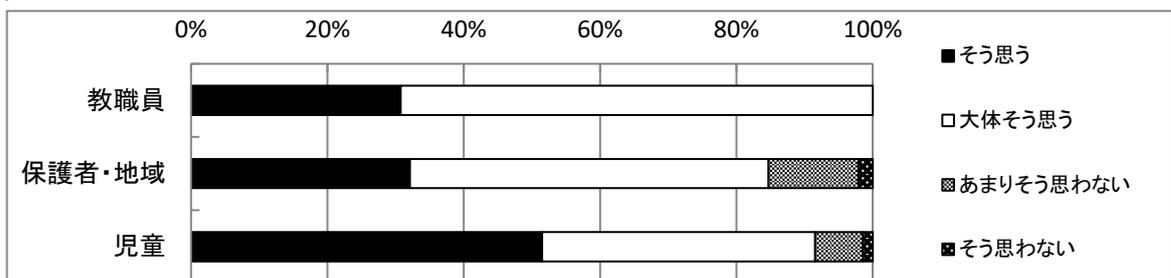


〈考 察〉

児童の98%が肯定的回答をしています。否定的な回答に対しては、いじめアンケートや個別面談で対応し、一つずつ丁寧に解決していきたいと考えます。ご家庭で児童の様子について気になることがありましたら、早めに相談いただくと、早期の解決につながります。学校・家庭が連携し、児童の成長を促したいと考えます。ご協力をお願いいたします。

(2) 学校の生活に目標を持って、進んで参加している。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	8	18	0	0	26
保護者・地域	124	203	51	8	386
児童	329	256	45	9	639

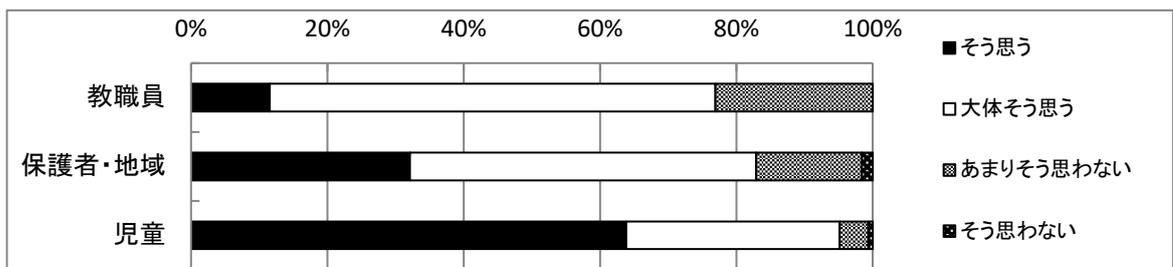


〈考 察〉

教職員・保護者・児童とも約80%以上が、肯定的回答です。しかし、教職員と児童・保護者の意識に若干のずれがあるようです。児童が“〇〇ができるようになりたい。”“〇〇のようになりたい。”という具体的な目標を持ち、それに向かい努力し、達成した時に達成感を持つよう、今後さらに取り組んでいきたいと考えます。

(3) 挨拶の習慣が身に付いている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	3	17	6	0	26
保護者・地域	124	196	60	6	386
児童	408	200	27	4	639

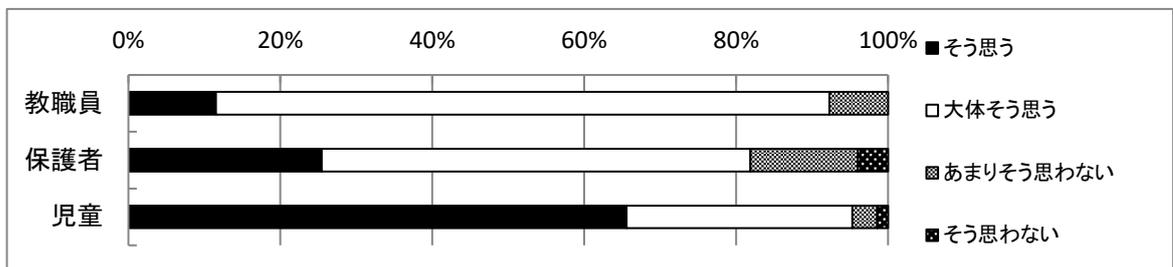


〈考 察〉

児童は90%以上が肯定的でしたが、常時マスクを着用し、コロナ以前のように大きな声での挨拶を励行していないことから、声が聞こえないことで「挨拶ができていない」と感じてしまう部分もあると考えます。これからも、自分から明るい挨拶ができる横小の児童を目指して指導していきます。学校外でも挨拶ができるように保護者の皆様にもご協力いただければ幸いです。

(4) 授業が楽しく、わかりやすいと思う。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	3	21	2	0	26
保護者	83	184	46	13	326
児童	419	190	21	9	639

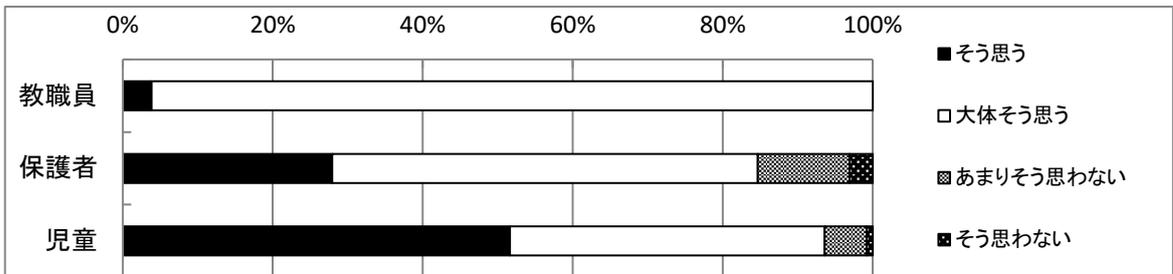


〈考 察〉

児童の95%以上が、授業は楽しくわかりやすいと判断していますが、保護者の認識と差が出ています。今後も改善に取り組み、わかりやすい授業を心がけていくよう努めてまいります。ICT機器の活用等を通し、視覚的に理解できるような指導方法を工夫していきたいと考えます。

(5) 学習したことは、身に付いている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	1	25	0	0	26
保護者	91	185	40	10	326
児童	330	268	36	5	639

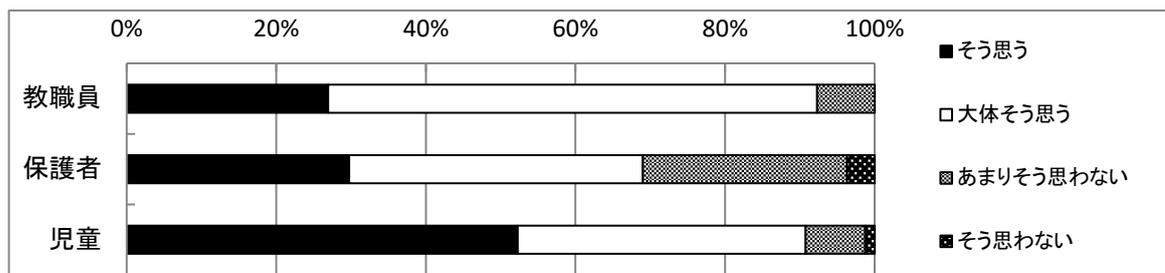


〈考 察〉

90%以上が肯定的回答をしています。しかし、保護者・児童においては十分でないとも判断しています。基本的な学力の習得、思考力・表現力の向上に向けて、教員の資質向上をはかるとともに、保護者との連携による家庭学習の充実を更に図っていきたいと思います。

(6) 家庭学習の習慣が、身に付いている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	7	17	2	0	26
保護者	97	128	89	12	326
児童	334	246	51	8	639

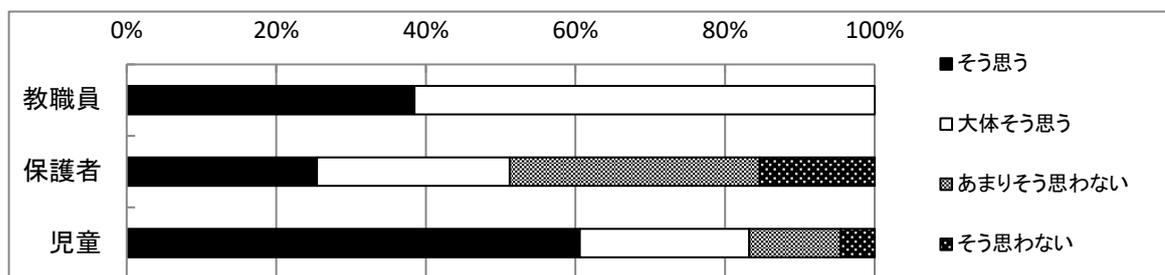


〈考 察〉

児童・教職員は90%以上が良好と答えています。保護者は70%程度にとどまり、意識の差が見られます。興味関心のあることを児童自ら取り組めるように、教師からの投げかけや家庭での助言を行い、児童が進んで学習に取り組めるように工夫したいと思います。児童にとって過度な負担にならずに、家庭学習の質が高められるよう、学校と家庭との連携を深めていきたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひいたします。

(7) 読書をよくする。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	10	16	0	0	26
保護者	83	84	109	50	326
児童	387	145	78	29	639



〈考 察〉

学校図書館の活用で、児童の80%以上が肯定的な回答をしていました。しかし、保護者の意見の半数は否定的な回答でした。ご家庭で読書する様子を保護者の方がご覧になることが少ないことが原因と考えます。読み聞かせや、おすすめの本の紹介をするなどして、児童がより一層本に親しめるような取り組みをご家庭でも行っていただくと、より一層読書好きの子が増えると考えています。

(8) 学校行事は、保護者が参観しやすいように工夫されている。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	12	12	2	0	26
保護者・地域	95	211	66	14	386

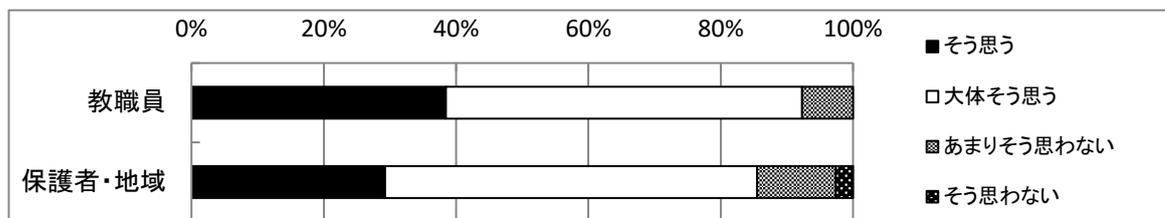


〈考 察〉

今年度も感染症予防の観点から、参観の機会を十分にもてなかつたことを深くお詫び申し上げます。ただ、そのような中で約80%の方が工夫をしているとらえていただひいており、大変うれしく思ひます。限定された条件の中で、参観ができる方法を模索してまいります。

(9) 教育活動の内容は、学年便りや学校便り、ホームページ等によって知ることができる。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	10	14	2	0	26
保護者・地域	113	217	46	10	386

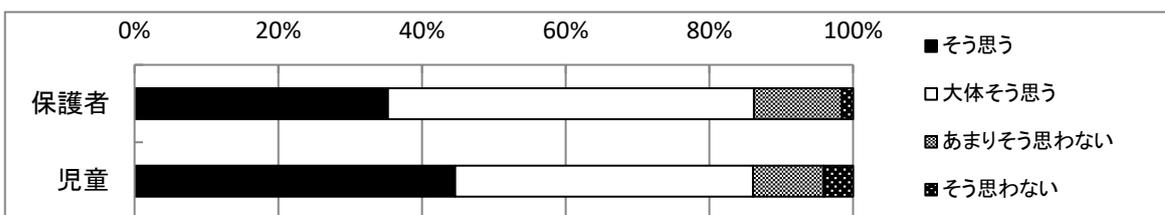


〈考 察〉

教職員と保護者とで認識の差が出ています。学校としては各種お便りやメール配信にて発信しているつもりであっても、ホームページの更新頻度等、得たいときに情報を得られなかったことが要因かと考えています。これからも情報の発信方法を模索したいと思います。また、各町会・自治会に協力いただき、学校便りを回覧・掲示していただいていますので、そちらもご確認いただくと幸いです。

(10) 学校での健康教育への取り組み(早寝早起き朝ごはんと外遊び)を家庭でも実践している

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
保護者	115	166	40	5	326
児童	285	265	63	26	639

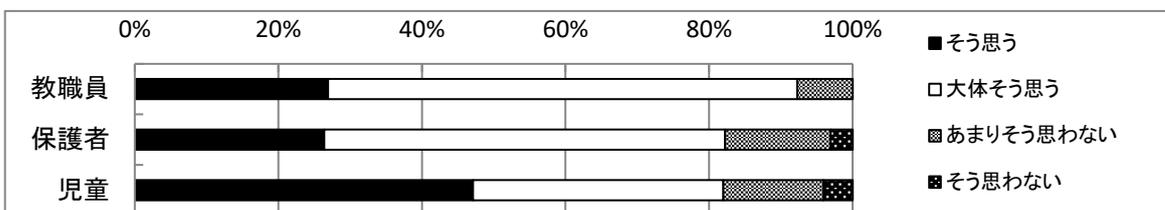


〈考 察〉

保護者・児童ともに80%強の肯定的意見となっています。昨今の状況により、外遊びができにくい環境であったり、家庭での自粛生活によるストレスを抱えたりと、生活習慣が乱れることもあったかと推察します。学校でも声かけをしていきます。

(11) 学習や生活について相談できる

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	7	17	2	0	26
保護者	86	182	48	10	326
児童	301	223	89	26	639

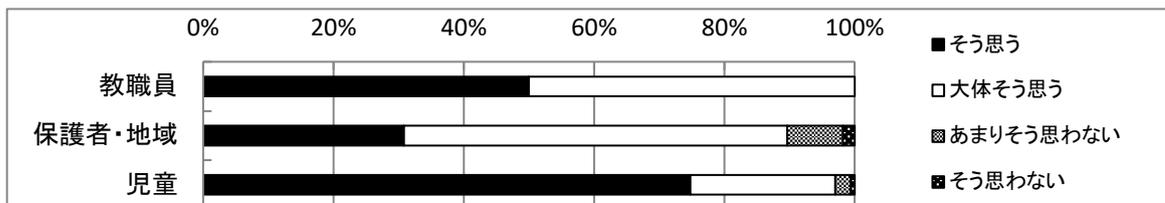


〈考 察〉

児童・保護者の20%弱が、相談しづらいという認識を持っています。学校としては誠実に取り組んでいるつもりですが、なお一層力を注いでいきたいと考えます。感染症予防の観点から、お会いして話す機会が持てなかったことも要因の1つと考えます。普段から保護者との連絡を密にしていきたいと思っています。また、学校全体に関わることについては教頭が窓口となっています。お気軽にご相談ください。

(12) 安全や防災対策について取り組んでいる

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	13	13	0	0	26
保護者・地域	119	227	33	7	386
児童	478	142	15	4	639

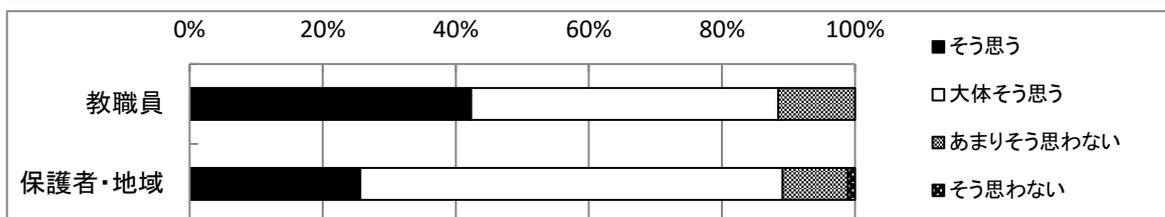


〈考 察〉

肯定的な回答が大半を占めています。児童の安全は最優先されるべき事項です。学校としては、安全・防災について最大限努力をしているつもりです。環境面では人的・物的リソースが足りない場合や、対策にかけられる予算がない場合もありますが、避難訓練や危険予知トレーニングなど、児童の意識を高める取り組みもしています。今後も、気を抜かずに取り組んでいきたいと考えます。

(13) 学校は、子どもたちにとって生活しやすい環境が整っている

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	11	12	3	0	26
保護者・地域	99	245	38	4	386

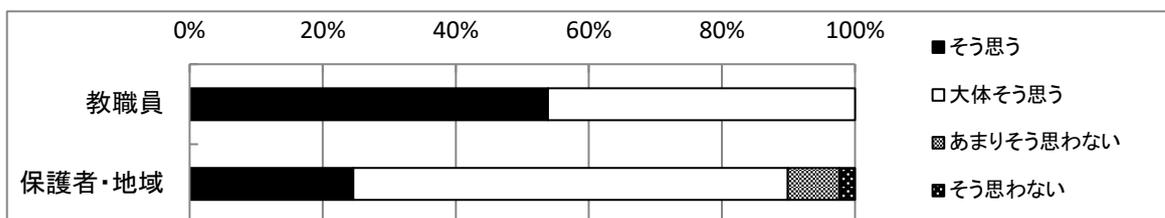


〈考 察〉

教職員・保護者とも肯定的な意見が大半を占めています。「生活しやすい」と考える要因は多くありますが、各階・各教室に消毒液を常備し、下校後の消毒も毎職員が日欠かさず行うなど、感染症予防のための物理的な環境を整えるだけでなく、GIGAタブレットとTeamsを活用したオンラインの学習環境作りを進めてまいりました。そういった工夫改善も生活しやすい環境の一部ととらえています。

(14) 学校は、いじめのない楽しい学校(学級)づくりに努めている

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	14	12	0	0	26
保護者・地域	95	252	30	9	386

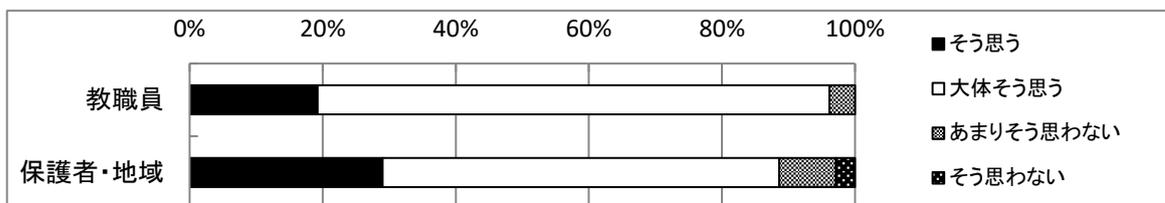


〈考 察〉

教職員と保護者で10%程度の開きがありました。教職員は努力をしていますが、なかなか伝わらないことも多くあったのかと思います。今後も学校は、いじめについては、絶対に許さないという強い態度で臨み、指導を継続いたします。ご家庭でお気づきの点がありましたら、その都度教えていただくとありがたいです。

(15) 学校は、子どもたちをよりよく育てるため、地域と協力している

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	5	20	1	0	26
保護者・地域	112	230	33	11	386

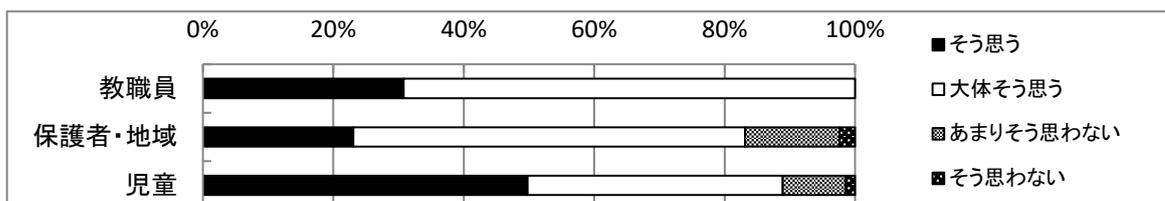


〈考 察〉

教職員・保護者ともに肯定的な意見が90%以上となりましたが、様々な活動に制限があり、安全会議などの地域との連携がなかなかできない状況でした。そのような中、スクールガードさんにご尽力いただき、児童の安全確保に努めてまいりました。感染状況が落ち着いた際には、授業の中でゲストティーチャーを招くなど、地域人材を活用できればと考えております。

(16) 学校は、自分の考えをしっかりと持ち、わかりやすく伝えられる子どもに育てようとしている

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	8	18	0	0	26
保護者・地域	89	232	56	9	386
児童	318	250	62	9	639



〈考 察〉

学校では、研究教科を国語にして、自分の思いや考えを表現する子の育成を目指しています。感染拡大防止の観点から、授業のスタイルに制限はありますが、自分の考えを持てるような指導法に努めています。それに加え、聞く練習・話す練習を成長過程にあわせて指導しているところです。コミュニケーション能力向上のために様々な工夫を行っていきたくと考えています。様々な場面で、児童の成長を見守っていただければと思います。

* 学校教育活動において、重要視しなければならない項目(3つまで複数回答可)

	選択肢	回答数	%
A	友達と仲良く学校生活を送っている。	286	83.1%
B	学校の活動に目標を持ち、進んで参加している。	78	22.7%
C	挨拶の習慣が身に付いている。	87	25.3%
D	授業が楽しくわかりやすい。	140	40.7%
E	学習したことが身に付いている。	164	47.7%
F	家庭学習の習慣が身に付いている。	14	4.1%
G	読書をよくする。	12	3.5%
H	学校行事等は、保護者が参観しやすいように工夫されている。	13	3.8%
I	教育活動の内容は、学年便りや学校便り、ホームページ等によって知ることができる。	14	4.1%
J	健康教育の取り組み(早寝 早起き 朝ごはんと外あそび)	25	7.3%
K	お子さんの学習や生活について、相談できる。	43	12.5%
L	安全や防災対策についての積極的な取り組み	38	11%
M	子どもたちにとって生活しやすい環境整備	78	22.7%
N	いじめのない楽しい学校(学級)	127	36.9%
O	子どもたちをよりよく育てるための地域の協力	8	2.3%
P	自分の考えをしっかりと持ち、わかりやすく伝えられる子の育成	81	23.5%

〈考 察〉

学校教育活動で重要視するものは、A「友達と仲良く学校生活を送っている。」が多数を占めています。その次はほぼ同数で、D「授業が楽しくわかりやすい」、E「学習したことが身に付いている」、N「いじめのない楽しい学校(学級)づくり」が上位を占めました。日々の教育活動を行う上で、教職員も常に心がけていることです。学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもたちが笑顔で登校して、笑顔で下校する横須賀小学校をめざしていきます。